

## 第4回富良野市農政審議会 会議録

日 時：令和5年12月26日（火）15:30～17:10

場 所：富良野市複合庁舎4階 第3会議室

出席委員：小師和彦委員 藤野啓一郎委員 杉村鉄也委員

池田勝委員 高田忠明委員 小笠原博委員

岡田憲雄委員、桑折裕美子委員 狩野康弘委員

東山寛委員 一宮委員（石垣） 本谷志雅子委員

※欠席 菊地邦之委員 林真佐子委員 鶴井敦士委員

事務局：川上経済部長 西出農林課主幹

中井担い手育成係長 西尾農業振興係長

小野塚係員

### 1. 開 会（司会：西尾）

### 2. 委員長挨拶（小師委員長）

- ・今年には戦争の多く大きな意味では不幸な一年だった。
- ・農作物は猛暑で、物は取れても品質が悪い、糖度が低いなど品質が良くなかった。
- ・12月23日の道新に、30年後の人口統計について記事が出ていてかなり衝撃的だった。人口減少化での農業のあり方、取り組み方などより一層考えていなければならぬ。
- ・今年一年審議してきたことが、概ね纏まってきた。今回の審議会でも忌憚のない意見をお願いしたい。

### 3. 報告事項

#### ●小師委員長

事務局より報告事項について説明願います。

#### ●事務局 西尾

事務局より以下の点を説明した。

- ・ふらの未来農業 EXPO セミナー参加者38名に対しアンケート調査を実施。回答者5名。スマート農業、農福連携、ふらのブランド、安心安全な農作物、稼げる農業について意見があった。
- ・JA ふらの青年部7名と農業基本計画について、2時間にわたり意見交換し、スマート農業補助、観光と農業の連携、後継者や新規就農への補助など要望・意見など出された。若い農業者の意見を第4次計画に反映させていきたい。

### 4. 審 議

(1) 第4次富良野市農業及び農村基本計画（素案）について

- ・施策の重点取り組みについて

●小師委員長

事務局より説明願います。

●事務局 西尾

事務局より以下の点を説明した。

- ・基本計画について、これまでの3回の審議を経てまとめたものを冊子として作成した。その中で施策の重点取り組みについて、ご審議頂きたい。

【就農住宅改修支援について】

●小師委員長

外国人材の住居は含まれていないのか。

●川上経済部長

この事業は、外国人は含めていない。外国人も住居は必要であるため、市有財産（教員住宅など）の活用、検討していきたい。

●小師委員長

道堂も空いてるところがある。今後、市民となっていく視点も必要。新規就農者に限定しているが、昨今Uターンもいる。新規就農に限らず、家のリフォームや賃貸の補助、そういう裾野を広げるなどどうか。新規就農は細くなってきている。

●川上経済部長

建設水道部では住宅改修の補助をしている。住み分けが必要。

●藤野副委員長

新規就農者に限らず、もっと裾野を広げた事業としてできないか。

【アグリケーション体験】

●藤野副委員長

半農半Xについて、受入農家はどう選択するのか。

●事務局 中井

半日（午前）の農業体験を想定して、午後からは自由に体験活動をしてもらう。農業の体験作物はメロン、ミニトマトを想定。指導する人は地域育成部会にお願いしたい。うまくいけば新規就農者に繋がればと考えている。

●藤野副委員長

新規就農を目指すのであれば、新規就農のところに体験に入ってもらった方が、効果があるのでは。

【経営継承発展支援】

●杉村委員

親から子への継承のみではないものかどうか、計画を立ててのものか知りたい。

●事務局 中井

新たな取り組み、事業内容は種々あり。ポイント積み上げによる採択となる。

【人材確保について】

●藤野副委員長

後継者の冬場の仕事、研修を考える必要があるのでは。

●小師委員長

参加者が少ない、簿記の研修、階層別実施を考える。全体的な学び、基礎、それぞれの団体にブラッシュアップする必要がある。

【化学肥料低減の取り組み】

●小師委員長

現状でも肥料削減は進んでいる。土壌診断をして安い肥料を使い努力している。取組の概要で、施肥の効率化・スマート化を推進としているが、具体化した内容（セクションコントロール、リモートセンシングなど）技術が入っても良いのでは。

●NTT 東日本（石垣氏）

ピンポイントでの施肥の施用ができるので、ワードとして入れてもよいと思う。

●東山委員

富良野には施肥マニュアルはあるのか。

●小師委員長

普及センターとJAでは（北海道施肥ガイド）冊子を作っている。JAを中心に配布している。

●事務局 西尾

ご指摘いただいた内容で修正を検討したい。

【スマート農業の推進】

●東山委員

携帯が繋がらない地域は存在するのか。

●NTT 東日本（石垣氏）

通信インフラが整備されていないとスマート農業機器が使えないところもある。それを解消するための事業で情報通信環境整備対策（農水省）がある。

●藤野副委員長

機器のバージョンアップが必要。アンテナ 2 基と 4 基。対応できない自動操舵は無駄になる。トリンプルはできる。トプコンはアンテナを代える（1 台 100 万円）。アンテナ難民がでないような予算があると良い。

●小師委員長

気象ロボットも必要。施設園芸は進んでいるが畑にも波及しないといけない。

●NTT 東日本（石垣氏）

参考として、気象データのメッシュ。気象データは岩見沢市が参考となる。

【シティプロモーション × 農／食（健幸）】

●狩野委員

事業に内容、取組について、詳しく説明してほしい。

●事務局 小野塚

ベジチェックにより野菜の摂取量を図る。目的として市内の野菜を食べてほしい。市の健幸事業と連動させて健幸ポイントももらえるようにする。また、小学校や高齢者施設にもベジチェックを持ち出し、野菜を食べてもらえるような活動もしたい。

●狩野委員

観光面での活用できるのでは。例えば、ご飯や観光施設など食べられるところに設置するなど。

【山村活性化対策事業】

●高田委員

メロン生産部会が何年もかけて上富良野、中富良野、富良野、山部の部会が一つにまとまったところに、ふらのブランドとしてまとまって取り組むのはよいが、山部だけ（地域限定）そのような取り組みをするのは水を差すことになる。

山部の委員もこの事業を知らない。（他の委員数人も同意見）

●川上経済部長

内部で協議する。

【全体を通して】

●東山委員

今回の計画の目玉は住宅政策になる。富良野市が取り組めば、全道で先進的な取り組みになるのでは。

5. スケジュール等

- ・市長への答申 1月
- ・パブリックコメント 2～3月

6. その他